

2023年2月10日

金融庁

総合政策局リスク分析総括課健全性基準室 御中

一般社団法人全国銀行協会

「オペレーショナル・レジリエンス確保に向けた基本的な考え方」(案)
に対する意見について

2022年12月16日付で意見募集が開始された「オペレーショナル・レジリエンス確保に向けた基本的な考え方」(案)について、別紙のとおり意見を提出いたしますので、何卒ご高配賜りますようお願い申し上げます。

以 上

「オペレーショナル・レジリエンス確保に向けた基本的な考え方」(案)に対する意見

| NO | 金融機関名・ 業界団体名等 | 目次 番号 | 意見 |
|----|------------------|----------|--|
| 1 | 全国銀行協会 | BOX6 | <p>クラウドサービスに対する安全対策において、セキュリティ対策や脆弱性改善への対応等をクラウドサービス事業者に適時ヒアリングしているが、一部の事業者からは明確な回答を得られないケースもある。その場合、金融機関は、当該クラウドサービスが外部の評価制度で一定以上の評価を得ていることをもって、安全性を評価することが考えられる。</p> <p>利用し得る外部の評価制度の1つとして、「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 (ISMAP)」がある。ISMAPに登録されたクラウドサービスであれば、政府が求める高いセキュリティ要求を満たしており、それが当行の基準とマッチしていれば、安全性が高いと考えられる。</p> <p>一方で、現状、ISMAPに登録されているクラウドサービスが限定的となっている。</p> <p>今後、政府がISMAPへの登録および利活用を促進することが、クラウドサービス事業者のセキュリティ対策の向上にも、金融機関のオペレシの強化にもつながると考えられる。</p> <p>上記を踏まえ、以下の修正案のとおり、ISMAPの利活用の記述を追記することも一案ではないか。</p> <p><BOX6修正案></p> <p>「なお、個別金融機関がそれぞれ監査する非効率性を解消するために、外部監査により一括してモニタリングする方法としては、クラウドを含む委託業務の内部統制を対象としたSOC (Service Organization Control) 報告書 26の利用や、監査対象がSaaSである場合には「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 (ISMAP)」への登録状況も参考情報として利用される例も聞かれる。」</p> |